

平成 2 7 年 度 恵 庭 市 総 合 防 災 訓 練 開 催 要 領 (案)

平成 27 年 5 月 8 日現在

1 目 的

この訓練は、災害から市民の生命や財産を守るため、地震発生による大規模災害を想定し、地域住民および企業や防災関係機関が一体となり、相互の連携と防災意識の高揚を図り、災害時において迅速かつ的確な救急救助活動や復旧活動が展開できるよう防災訓練を実施して、災害に対して万全を期すことを目的とする。

2 実施日時

平成 2 7 年 9 月 2 日 (水) 8 : 4 5 ~ 1 4 : 0 0

3 主 催

恵庭市防災会議

4 参加・協力団体

防災会議の機関、市内自主防災組織、災害協定締結団体、福祉団体、小中学校など

5 実施場所

北海道文教大学 (旧パークゴルフ場周辺)、子ども発達支援センター等

6 災害想定

平成 2 7 年 9 月 2 日午前 8 時 0 0 分、市内北東部を震源としたマグニチュード 6 . 9 (震度 6 強) の直下型地震が発生。

7 訓練内容

- 1) 災害対策本部設置訓練
- 2) 訓練展示（大規模地震対応消防訓練、傷病者搬送訓練等）
- 3) 防災資機材展示
- 4) 住民参加訓練（救出・救助訓練、水消火器訓練、煙体験訓練、応急手当訓練、流速体験訓練）
- 5) ボランティアセンター・福祉避難所開設訓練
- 6) 恵庭市避難行動（シェイクアウト等）訓練

8 訓練の中止

訓練当日に警報等の気象予報又は水防警報が発令され、災害の恐れがある場合又は災害が発生した場合は中止とする。

9 訓練概要

- ① 8時45分～9時45分（災害対策本部設置訓練）

本部長以下、各対策部長と連絡担当者による本部運営の訓練を行う。

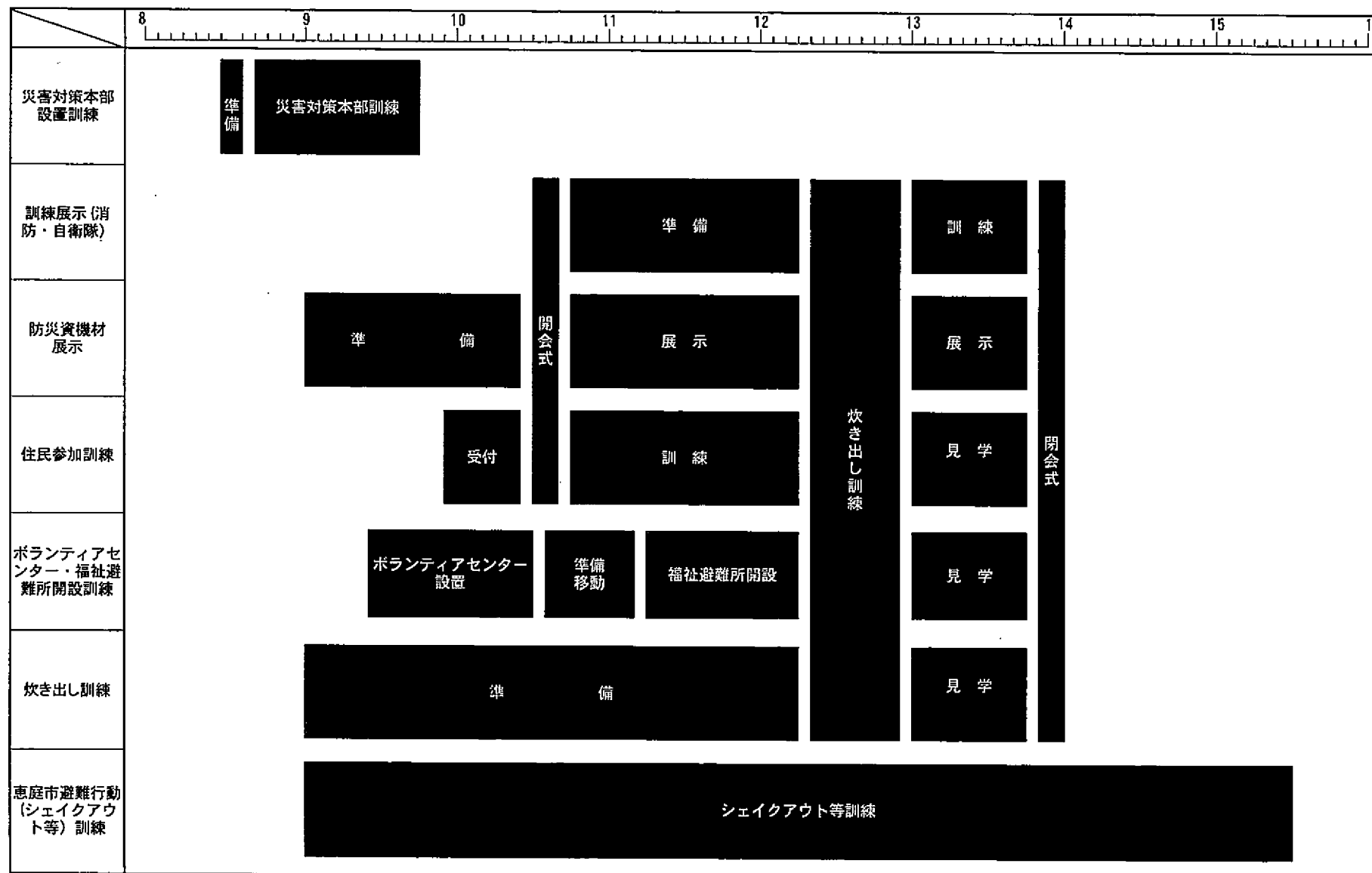
- ② 10時30分～14時00分（北海道文教大学旧パークゴルフ場周辺を会場に行う訓練）

住民参加訓練を中心として、防災資機材展示や関係機関による訓練を行い、13時頃から消防を中心とした訓練展示を行う。またボランティアセンター開設訓練と福祉避難所開設訓練もあわせて行う。

過去の災害から、自助・共助が重要となり訓練参加・体験する形になっていることから、そのような形態をとることとする。

_____部分は今回新たに訓練に盛り込んだ部分

恵庭市総合防災訓練タイムスケジュール（案）



恵庭市総合防災訓練(案)

平成27年5月8日現在

災害対策本部訓練

※詳細は実施要領(案)を参照

- ①本部設営
設営訓練
- ②本部員招集
招集訓練
- ③本部運営
各対策部の役割確認
、情報収集・報告等
- ④支援要請
開発局、自衛隊、警察
等関係機関
- ⑤伝達・通信訓練
災害発生への報告等
- ⑥機器使用訓練
FM放送等

市役所会議室
8時45分～9時45分

訓練展示

※詳細は実施要領(案)を参照

- ①自衛隊、日赤
炊き出し訓練
- ②自衛隊、消防
救出訓練
- ③自主防災組織等
- ④市・水道協会
給水・水道管復旧訓練

住民参加訓練

※詳細は実施要領(案)を参照

- ①応急手当訓練
- ②救出・救助搬送訓練
- ③煙体験、水消火器訓練
- ④流速体験訓練

北海道文教大学
10時30分～14時00分

防災資機材展示

※詳細は実施要領(案)を参照

- ①北海道開発局
流速体験車等
- ②警察
車両展示
- ③北海道電力
発電機車
- ④NTT
災害伝言ダイヤル
- ⑤NTTドコモ
衛星携帯電話体験
- ⑥コカコーラ
災害自販機展示
- ⑦ムラカミ
防災グッズ展示
- ⑧市(環境課)
電気自動車

ボランティアセンター・ 福祉避難所開設訓練

※詳細は実施要領(案)を参照

- ①警察
- ②社会福祉協議会
- ③青年会議所
- ④隊友会
- ⑤防災マスター
- ⑥町内会等
- ⑦市

社会福祉協議会、発達支援センター等
9時30分～12時00分

恵庭市避難行動(シェイクアウト等)訓練

※詳細は実施要領(案)を参照

・実施方法
市内の教育機関、協定先
企業等で実施。

小中学校等
9時00分～15時30分

災害対策本部訓練実施要領(案)

1 日時

平成 27 年 9 月 2 日 (水) 午前 8 時 45 分～午前 9 時 45 分

2 会場

恵庭市役所 3 階 301・302 会議室

3 状況設定と訓練内容

1) 状況設定

平成 27 年 9 月 2 日 (水) 午前 8 時 00 分頃、市内北東部を震源としたマグニチュード 6.9 (震度 6 強) の直下型地震が発生、家屋の倒壊など恵庭市内市街地を中心に甚大な被害を及ぼした。

特に震源地に近い黄金地区では、建物の倒壊及び火災等が発生したことに加え、ライフライン機能が停止した他、主要幹線道路が寸断され、今後発生が見込まれる余震により、さらなる被害拡大が予想される。

また、黄金ふれあいセンターを利用している老人クラブの会員が地震に遭遇し、そのままセンターで待機することとなった。この地震で付近の住民が自主避難してきた人達でセンターが満室となり、要支援者と高齢者を子ども発達支援センターに開設した福祉避難所に、ボランティアの協力をいただき移動することとなった。

2) 訓練内容

- ① 本部設営訓練 (前日) ② 各対策部における初動体制の確認 ③ 各対策部における活動状況の報告
- ④ 災害時における関係機関・協定先企業との情報伝達 ⑤ 北海道開発局 (リエゾン)、自衛隊、警察との情報共有
- ⑥ 放送資機材確認と運用 (FM 放送 e-niwa)

注：災害対策本部訓練では、すでに第 1 回会議で職員参集状況の確認・報告、第 2 回会議では、職員参集時の市内の被害状況掌握については、終了しており第 3 回会議での各対策部からの「初動の報告」から開始の想定とする。

4 参加機関等

参 加 機 関	人 員 等	備 考
北海道開発局(リエゾン)	今後調整	無線機の準備
自衛隊	今後調整	無線機の準備
警察	今後調整	無線機の準備
FM 放送 e-niwa	今後調整	放送資機材確認と運用
その他関係機関 ※情報伝達のみ	人員の配置は無し	開発局(千歳道路、千歳河川、漁川ダム)、道農政事務所、北海道総合通信局、道(石狩振興局、千歳保健所、札幌建設管理部千歳)、森林管理署、JR、NTT、北電、土地改良区、農協、医師会、歯科医師会、日本郵便、建設業協会、赤十字奉仕団、社会福祉協議会、町内会連合会、女性ネットワーク、水道企業団、商工会議所、その他協定先機関・企業
恵庭市災害対策本部	災害対策本部長(市長)、副本部長(副市長、教育長)、災害対策本部員(部長職)、総務対策部本部班(基地・防災課、総務課)、各災害対策部連絡責任者1名	

※各災害対策部班員の参加範囲については、各対策部に一任する。

5 タイムスケジュール

時間	訓練内容	参加機関								
		北海道 開発局 (リエゾン)	自衛隊	警察	FM放送 e-niwa	市				
						本部長 副本部長	本部員	総務対策部 本部班	各対策部 連絡責任者	各対策部 班員
08:45	本部設置	—	—	—	—	自主参集	自主参集	自主参集	自主参集	—
08:45	本部員招集(庁内放送) ◇301・302会議室に集合	—	—	—	—	自主参集	自主参集	関係機関との 伝達訓練 (08:45より)	自主参集	—
08:50 ～ 08:55	北海道開発局(リエゾン)、自衛隊、 警察の到着	集合	集合	集合	—	—	—	—	—	—
08:55 ～ 09:15	訓練開始 ◇各対策部での初動体制報告 ◇本部長からの確認	被害状況 確認	被害状況 確認	被害状況 確認	放送準備	指示	報告	記録	情報収集	対策活動
09:15 ～ 09:40	◇市内の被害状況など、現在の活 動状況を報告 ◇自衛隊、警察、北海道開発局 (リエゾン)報告	報告	報告	報告	放送	指示	報告	記録	情報収集	対策活動
09:40	本部長講評	—	—	—	—	講評	—	—	—	—

訓練展示実施要領(案)

- 1 日時
平成 27 年 9 月 2 日（水）午前 10 時 30 分～14 時 00 分
- 2 会場
北海道文教大学敷地内（旧パークゴルフ場周辺）
- 3 参加機関と訓練内容

参加機関	訓練内容	必要車輛等	備 考
自衛隊	搬送訓練（負傷者をヘリで搬送） 炊き出し訓練	ヘリコプター	
恵庭市赤十字奉仕団	炊き出し訓練		
恵庭市水道協会	水道管応急復旧訓練		市水道対策部との連携
消防職・団員	「大規模地震対応消防訓練」 ・建物の倒壊により通行人、通行車両を巻き込み負傷者が発生。 （けが人 10～15 名程度） ・けが人の収容（救急車）。 「傷病者搬送訓練」 ・救急車から自衛隊ヘリへの負傷者の搬送及びヘリポート設置に伴う散水、誘導。 「自衛消防隊による放水訓練」 ・通報から自衛消防隊の各活動訓練 ・自衛消防隊と消防の連携訓練	消防車、救急車	・近隣市からも応援予定。 ・北海道文教大学（自衛消防隊）との連携。
市（水道対策部）	給水訓練	給水タンク積載車両	サッポロビール㈱北海道工場との連携

防災資機材展示実施要領(案)

1 日時

平成 27 年 9 月 2 日（水） 準備時間：午前 9 時 00 分～午前 10 時 30 分、展示時間：午前 10 時 30 分～14 時 00 分

2 会場

北海道文教大学敷地内 （旧パークゴルフ場周辺）

3 参加機関と展示内容

参加機関	展示内容	備 考
北海道開発局	流速体験車、照明車か排水ポンプ車展示	
千歳警察署	車両展示	
北海道電力	発電機車展示	
N T T	災害伝言ダイヤル「1 7 1」体験	
N T T ドコモ	衛星携帯電話体験、発電機車展示	
コカコーラ	災害用自販機展示	
ムラカミ	防災グッズ展示	
市（環境課）	電気自動車展示	

住 民 参 加 訓 練 実 施 要 領 (案)

- 1 日時
平成 27 年 9 月 2 日 (水) 午前 10 時 40 分～12 時 20 分
- 2 会場
北海道文教大学敷地内 (旧パークゴルフ場周辺)
- 3 参加機関と訓練内容

参加機関	訓練項目	訓練内容
町内会・自主防災組織・住民・防災マスター認定者	救出・救助訓練	倒壊建物から、防災ベンチ内に配置している資機材を使用し救助・救出し簡易担架にて実際に搬送する訓練
	煙体験・水消火器訓練	火災発生時に出る煙（無害）を体験する訓練 水消火器を使用し火を消す訓練
	流速体験訓練	石狩川の平均流速、増水時の流速を体験する訓練
	応急手当訓練	AEDを使用した心肺蘇生訓練

※ 1 班 3 0 名程度を 5 班作成し、1 グループの訓練・体験は 2 0 分程度を目安に行う。

4 訓練サイクル

時間	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
10:40 ～ 12:20	A	B	C	D	E
	B	C	D	E	A
	C	D	E	A	B
	D	E	A	B	C
	E	A	B	C	D

A…救出・救助訓練

B…救出・救助訓練

C…煙体験・水消火器訓練

D…流速体験訓練

E…応急手当訓練

ボランティアセンター・福祉避難所開設訓練 実施要領(案)

1 日時

平成 27 年 9 月 2 日（水）午前 9 時 30 分～12 時 00 分

2 会場

社会福祉協議会・黄金ふれあいセンター・子ども発達支援センター

3 状況設定と訓練内容（午前 9 時 30 分～12 時 00 分）

1) 状況設定

地震を想定した訓練。社会福祉協議会にボランティアセンターを設置することとなった。

黄金ふれあいセンターを利用していた老人クラブの会員が地震に遭遇し、黄金ふれあいセンターで待機していたが、付近の住民が自主避難して来たため満室となり、要支援者と高齢者を子ども発達支援センター（福祉避難所）へ移動することとなった。

安全に移動を行うため、ボランティアセンターから黄金ふれあいセンターへボランティアの派遣を行う。

2) ボランティアセンター設置訓練

参加機関	訓練内容	協力人員等
社会福祉協議会 恵庭市支援対策部支援班	社会福祉協議会にボランティアセンターを設置し、初動体制の確認と黄金ふれあいセンターへの人員の派遣を行う。	青年会議所、自衛隊隊友会、防災マスター認定者

3) 福祉避難所開設訓練

参加機関	訓練内容	協力人員等
恵庭市保健福祉対策部救護班	子ども発達支援センターに福祉避難所を開設し、初動体制の確認と避難者の受け入れを行う。	

4) 移送訓練

参加機関	訓練内容	協力人員等
青年会議所、自衛隊隊友会、防災マスター認定者	黄金ふれあいセンターで待機していた高齢者を車椅子、自力歩行により子ども発達支援センター（福祉避難所）に移送する訓練。	警察（誘導）、町内会（高齢者）

※社会福祉協議会から黄金ふれあいセンターへは自衛隊バスで移動予定

恵庭市避難行動（シェイクアウト等）訓練実施要領（案）

1 日時

平成 27 年 9 月 2 日（水）午前 9 時～15 時 30 分

2 会場

市内各教育機関、協定先企業など

3 参加機関と訓練内容

参加機関	訓練内容	詳細
市内各教育機関、協定先 企業など	避難行動訓練（シェイクアウト等）	※シェイクアウト訓練は地震発生時における「命を守る 3 つの安全行動」①姿勢を低く ②頭を守り ③テーブル等の下でじっとしているもの。

※小・中学校等で、すでに避難訓練を計画している場合は避難訓練を行う。

場所:北海道文教大学(グラウンド)

恵庭市黄金中央5丁目196番地の1

